

第 25 回 からくり改善くふう展 2020/ 製造現場における「見える化・IoT」改善展 2020

出品のご案内

平素より格別のご支援を賜わり、厚くお礼申し上げます。

皆様にご支援ご協力をいただき 25 回目を迎えます『からくり改善くふう展 2020/製造現場における「見える化・IoT」改善展 2020』をつぎのとおり開催いたします。

本展は、からくり改善による改善事例を展示する日本最大級の事例作品展であり、日本のモノづくりの意識や技術の向上をめざし開催するものです。おかげさまで、年々ご出品いただく業種も増え、からくり改善の輪が広がっております。

ぜひこの趣旨にご賛同いただき、ご出品をご検討いただきたく、ご案内申し上げます。

1. 開催概要

名 称	第 25 回からくり改善くふう展 2020/製造現場における「見える化・IoT」改善展 2020
場 所	ポートメッセなごや 第 3 展示館（愛知県名古屋市港区金城ふ頭 2 丁目 2）
会 期	2021 年 3 月 10 日（水）10：00～16：30、3 月 11 日（木）10：00～16：00 ※準備 3 月 9 日（火）13：00～17：00
主 催	公益社団法人日本プラントメンテナンス協会
開催趣旨	からくり改善くふう展・製造現場における「見える化・IoT」改善展は、改善（工夫した）事例の展示と説明、企業間交流を通じて、人と情報、技術の交流を図り、日本のモノづくり企業の意識や技術の向上に寄与する



2. 出品要項

(1) 出品資格

- ・日本国内に拠点をもつ企業、およびその関係会社。営業目的の出品は固くお断りいたします
- ・海外法人の出品は日本国内の出品企業が連絡窓口になる場合のみ出品可能です。連絡窓口は日本国内とします（原則、外国語での案内はありません）

※ 関係会社をふくめ 1 スペース（ブース）で展示することも可能です。ただし 1 法人で複数の展示スペース（ブース）をもつことはできません

(2) 出品作品の種類と数

※末頁の作品区分と例をご参照ください

種類

：改善・工夫をした現物、ミニチュア、動画（写真）など、
仕組みをオープンにし、参加者が自社で活用して差し支えないもの、
安全が確保できるもの

※知的財産流出につながる作品の展示は固くお断りいたします

※営業につながる作品展示は固くお断りいたします

数：展示する作品数に制限はありません。

ただし展示スペースにサイズ制限がありますのでご注意ください

(3) 展示スペース（ブース）の大きさ

（幅）55800mm×（奥行）3000mm 以内

※幅は 3600mm 以上、900mm 単位で選択可能です

※奥行は 3000mm で固定です



(4) 展示方法

- ・ 出品作品の展示準備は、出品企業自身が準備日に会場に赴き、時間内におこなってください
- ・ 会期中は、作品ごとに作品説明員を常時配置し、作品説明をおこなってください
- ・ 出品作品の撤去および展示スペース内の片付けは、最終日終了後、出品企業にて指定時間内におこなってください
- ・ 展示スペースの備品は、主催者が準備いたします（一部有料備品あり）

(5) 出品御礼

- ・ 1社につき1日分招待券1枚の進呈
- ・ 1作品につき2日分作品説明員用入場券（説明員パス）2枚の進呈
- ・ 出品記念「楯」1基の進呈
- ・ 自社の作品DVD1枚の進呈
- ・ 1日入場券の特別料金での購入
- ・ 1作品につき1日分入場券2枚の進呈【当会会員企業のみ適用】

(6) 出品申込み方法と今後のスケジュール（予定）

- ・ 出品申込み： 2020年10月16日（金）締切
（申込方法）出品申込書に必要事項を記載のうえ、メールにてお申込みください
（送付先）karakuri2020@nagoya-nsc.co.jp
（申込書）<http://www.jipm.or.jp/offer/2020application.xlsx>
- ・ 展示作品の詳細連絡： 2020年12月10日（木）締切
- ・ 出品スペース内のレイアウトと備品申込み： 2020年12月21日（月）締切

(7) その他

- ・ 来場者による投票により、出品いただいた作品の中から優秀な作品を選び表彰する予定です
- ・ 会期中に開催するイベントにつきましては現在調整中です
- ・ 出品に関する詳細は、申込み後ご案内いたします
- ・ 出品費用はいただいておりません

からくり改善®くふう展の区分と作品例

区 分	作品例
a. 重筋作業 ・作業姿勢の改善	重量物の持上補助装置、投入補助装置、部品の自動払出・回収、昇降装置、重量物取扱い軽減、不良姿勢作業の改善（ストライクゾーン）など
b. 作業効率改善 (作業のやりづらさの改善)	段取り時間の短縮改善、ナットなどの1個取出し、部品の選別、治具のワンタッチ化、部品・工具の手元化、定位置化、作業に合わせた工具の改善、刃具の交換時間短縮、局所カバーの工夫、スキルレス化など
c. 歩行・運搬口スの改善	搬送装置、搬送補助装置、部品供給の自動化、物流改善、搬送方法の改善、作業動線の短縮など
d. 現場の危険を排除する改善	ヒヤリハット対策、ポカヨケ装置、材料混入防止、員数確認の見逃し防止、転倒防止ストッパー、落下防止、自動安全ブレーキ、吊り作業の容易化、安全柵の改善、音・粉塵・熱・照度の対策、液体漏洩防止治具など
e. 省エネ・省スペース改善	CO2削減、動力レス、既存動力の削減、置き場の省スペース化、設備・治具の極小化など
f. その他	設備診断機器、検査装置、寸法測定機器、メーターの限界表示、バルブの開閉表示、3点セットの改善、ボルトのアイマーク、清掃困難箇所・清掃時間短縮のための道具改善、清掃服の工夫など

製造現場における「見える化・IoT改善」展の区分と作品例

①改善・工夫をした現物・内容を展示（掲示）

a. 問題点の見える化	ロス、正常・異常、危険要因、作業、在庫などの見える化事例など
b. 結果の見える化	改善成果、コスト、活動状況などの見える化事例など
c. 知識・技術・技能の見える化	作業手順、熟練者作業、ノウハウ、スキル、などの見える化事例、ワンポイントレッスン、各種マニュアルなど
d. プロセスの見える化	工程（モノの流れ）、設備稼働状況、作業進捗、生産状況、保全計画・保全情報などの見える化事例など
e. 目で見える管理・目で見える表示	締結、潤滑、圧力計、バルブ、配管、電装部品、工具、測定具などの、目で見える管理・表示

②IoT等の新ツール活用（社内の改善で生まれた内製品が対象。購入品そのものや外販用のものは除く）

f. モニター化	設備稼働状況、生産状況、異常検知、保全計画・保全情報など
g. センシング	振動・電流・熱などの設備の正常・異常情報の収集、設備稼働情報の収集など
h. 分析ツール	生産性、品質、安全性担保、保全周期・修理情報など、現場情報を分析するツールの活用など
i. 機器の活用他	タブレット端末・スマートフォン、ドライブレコーダー等、一般的なツールや機器の活用など

③その他

j. 予備品管理方法の改善	予備品の発注点方式、置き方の改善など
k. 管理・間接部門の改善	巻き紙分析、事務所のレイアウト変更など
l. 技術技能評価や教育教材	技能スキル評価法、カットモデル、教育マニュアル、良品マニュアル、安全マニュアル、現場での各種表示など
m. 解析	チョコ停解析、加工点解析、故障解析、動画マニュアルなどの教材など
n. その他	

現場の“^{アイデア}工夫”が集結!!

予告

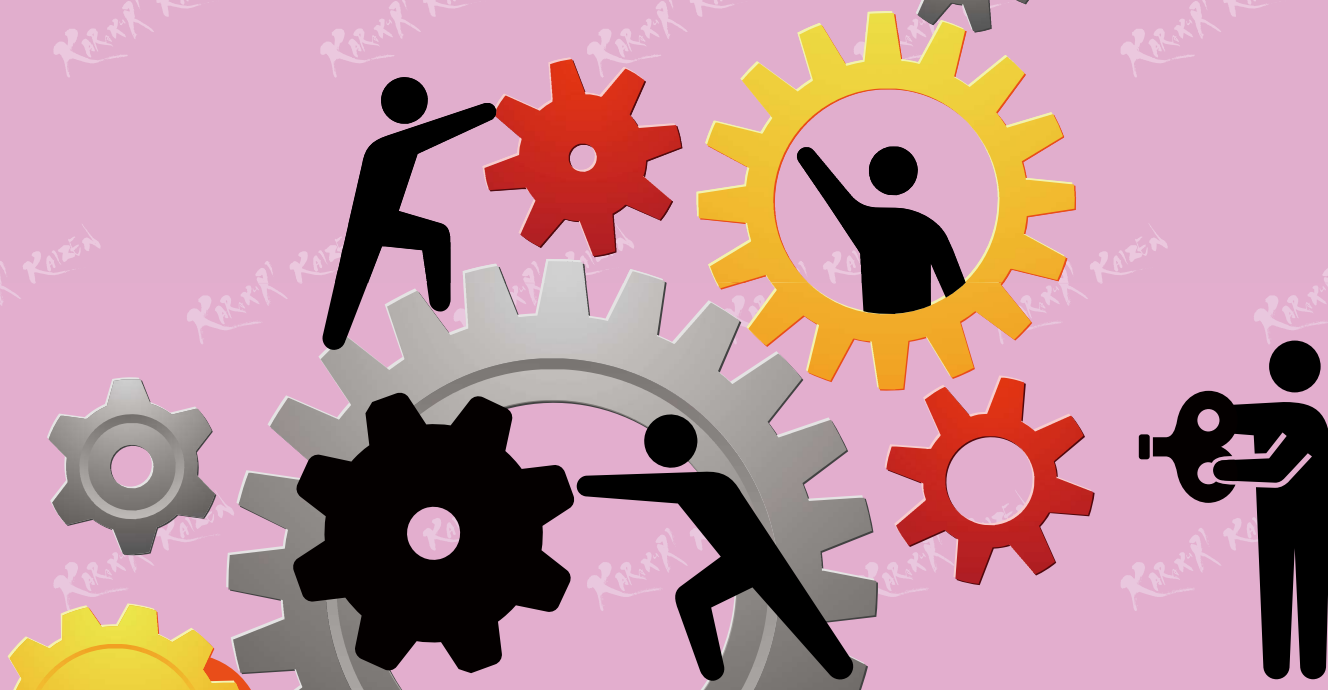
KARAKURI KAIZEN

第25回 からくり改善[®] くふう展2020

製造現場における「見える化・IoT」改善展2020

日程：2021年3月10日(水)～11日(木)

会場：ポートメッセなごや 第3展示館



JIPM 公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
Japan Institute of Plant Maintenance

※TPM[®]は、日本およびその他の国における公益社団法人日本プラントメンテナンス協会の登録商標です